

一般質問

市立加西病院について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 地域多機能型病院とはどのような病院か。

答 急性期だけではなく、回復期、亜急性期という、ある疾患について治りにくい方や治療が遅い方について、最後まで病院

でしっかりケアをしながら治していく機能が地域多機能型で、地域医療の最たるものと考えています。

問 近隣の病院と連携していくとのことだが、救急は本当に深夜日中を問わず対応が求められる。救急外来はどのような体制になるのか。

答 今まで救急診療室で内科、外科等の専門分野の医師が対応していましたが、4月からは

ER型となります。命を取りとめる、あるいは重篤にならない、予後が悪くない状態にするためのケアにおいて、20分という単位が非常に大事な時間です。その単位にあるちょうど市内の中心にある加西病院でER型にします。ER型とは、診療科ごとに対応していたものを一つにまとめて、まずはERという救急診療科にお越しいただき、その中で初期のケアをしながら必要に応じて各診療科に紹介します。患者、医療従事者にとって大変よい形であると考えます。

障害児福祉サービスについて



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 12月議会で放課後等デイサービス、タイムケア事業の議論をしたが、その後1事業所が廃止すると聞いた。今後の対策、学童保育での受け入れ検討は。

答 (健康福祉部) 放課後等デイサービスの利用希望が多

いため空きがなく、希望の施設や日数を利用できない、さらに新規の利用が難しい状況です。3月末に1事業所が廃止されることを受け、他の事業所に受け入れ等を働きかけたところ、定員増を決定された事業所があり、県とも調整を進めています。しかし、開設は早くとも5月となるため、利用者の不安な状況について理解を得、廃止時期を5月末にさせていただきました。今後も利用希望者が見込まれることから、施設整備の助成制度等も検討しながら施設の充実を図りたいと考えています。

(教育委員会) 放課後等デイサービスと学童保育をあわせて利用している児童もいますが、加配が必要な場合には受け入れ困難でお断りしている状況です。学童保育の利用が可能かどうかは、児童の状況に応じて個別の対応を行わざるを得ないと考えています。

■その他の質問項目

- ・安全安心なまちづくりについて
- ・誰もが安心して暮らせる福祉施策について
- ・市立加西病院について

鶉野飛行場跡地周辺の開発について



森元 清蔵 議員
(21政会・加西ともにつ育会)

問 鶉野飛行場跡地の戦争遺産の価値について。

答 点在する防空壕、爆弾庫、機銃座、貯水槽、滑走路など合計29カ所を戦争遺産として整理しています。滑走路など当時の状態がほぼ保たれた戦争遺産は全国でも希有で、歴史的価値も高

いと考えています。

問 この周辺の開発によって、何を伝えていこうとしているのか。

答 この跡地での史実としては、姫路海軍航空隊の開設と地元住民の立ち退き、生徒や多くの労働者が動員されたこと、同航空隊に約500名の若者たちが艦上攻撃パイロット養成として集められ、特別攻撃隊白鷺隊として63名もの若者が散華していたこと、500機余りの紫電、紫電改の戦闘機の組立てや試験飛行が行

われたこと、紫電改不時着による北条線脱線転覆事故で多数の死傷者が出たこと、3回の空襲を受けたことなどが挙げられます。これらの史実を後世に伝え、戦争の悲惨さ、あるいは平和の尊さなどを伝えていきたいと考えています。(市長) こんなに当時のまま残ったことは奇跡的で、残ったことが大切で、残った責任をしっかりと感じ、それを果たしていかなければならないと思ったわけです。その目的は、平和な社会を我々として引き続き確保していくということです。